

島根大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名:就業体験(1単位)
- 実習先企業等:株式会社 めのや
- 実習場所:島根県松江市
- 参加対象者:法文学部, 教育学部, 生物資源科学部,
総合理工学部2~3年生
- 実習期間:8月 ●実習日数:8日

<取組の概要>

この取組は、島根県の特産品である「めのう」を販売する店舗において調査業務を行うことで、顧客動向の分析力や企画提案力を身に付けるものである。



店頭でのアンケート調査の実施場面



社員の前でのプレゼンテーション

<取組の具体的な内容>

(1) ミステリーショッパー(覆面調査)実施

- ・対象は、めのや松江京店, 玉湯, 塩見縄手, イオンの各店舗のうち学生が行ったことがある店舗以外から選択した。
今回は松江京店にて実施した。

(2) 担当店舗での調査業務

【お客様へのアンケート調査】

- ・顧客動向を調査し、新たな商品提案を行うことを目的とし、アンケート調査を行った。
- ・来客された方を対象に、商品や接客への印象、購入理由等について尋ねた。

【店舗内の導線チェック】

- ・店舗内の商品展示の参考とするために、導線チェックを行った。具体的には、10秒以上立ち止まった場所を来客者の年代ごとに記録した。

【最終成果報告会】

- ・アンケート調査の結果報告および、導線チェック等を踏まえたお店への提案を10月20日(月)に、8名の社員の前でプレゼンテーションを行った(場所は本社)。プレゼンテーション時間は30分であった。プレゼンテーション終了後に、調査結果の内容や新たな提案に対して、1時間程度ディスカッションが行われた。

愛媛大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名: インターンシップ(2単位)
- 実習先企業等: ベストケア株式会社
- 実習場所: 愛媛県松山市
- 参加対象者: 法文学部総合政策学科3年生
- 実習期間: 8月14日～8月20日
- 実習日数: 7日

<取組の概要>

大学コンソーシアムえひめを通じてインターンシップを実施。学生には、「介護の現場を知ってもらう」と「インターンシップを通じて、“仕事とは何か？”を考えてもらう」ことを目的として実施した。



施設での実習

<取組の具体的な内容>

事前に十分な研修を受けて、介護の現場に出てもらうだけでなく、管理部門の業務を行うことで様々な体験を通して、「働くこと」を考えてもらうためのプログラムとした。

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
午前	入社 ガイダンス 目標設定	事務補助業務 ・購買処理 ・求人票作成	介護実習 デイサービス センター中村	介護実習 デイサービス センター中村	事務補助業務 ・購買処理
午後	施設見学 導入研修 介護基礎 振り返り	事務補助業務 ・求人票作成 ・ハローワーク 訪問 振り返り	介護実習 デイサービス センター中村 振り返り	介護実習 デイサービス センター中村 振り返り	振り返り フィードバック 総評

島根県立大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名:企業体験実習(2単位)
- 実習先企業等:公益財団法人 ふるさと島根定住財団
- 実習場所:島根県松江市
- 参加対象者:総合政策学部 3年生 2名
- 実習期間:8月 ●実習日数:5日

<取組の概要>

この取組は、島根県の定住促進を担う公益財団法人において、企業・地域活動実践者・Uターン者訪問などの業務体験、業務に関する座学、グループワーク、また職員へのプレゼンテーションを行うことで、ふるさとへの愛着を育みつつ、島根の現状への理解、課題の分析力、社会人基礎力、自己表現の力を身に付けるものである。



未来を考えるグループワーク



職員へのプレゼンテーション

<取組の具体的な内容>

(1)Uターン者・地域活動実践者・企業訪問と報告

県外から出雲市への移住者の体験談ヒアリング、雲南市の地域活動実践者の活動ヒアリング、松江市の企業の採用担当者への採用活動に関するヒアリングを3グループに分かれて現地訪問の上で実施。

(2)各種グループワーク

ふるさと島根定住財団の業務や島根県に関する講義、また社会人基礎力に関するセミナー、現地訪問などを、職員と触れ合いながら実施。それを基にグループワークを実施し、職員への成果プレゼンテーションを数回実施した。最終日には、定住財団の事業提案も含めたプレゼンテーションを実施した。

岡山県立大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名: インターンシップ(2単位)
- 実習先企業等: 総社市役所関連施設
- 実習場所: 岡山県総社市
- 参加対象者: 情報工学部、デザイン学部3~4年生
- 実習期間: 8月~9月 ●実習日数: 5~10日

<取組の概要>

大学の所在地である総社市において、平成21年度からインターンシップの受入れが行われている。今年度も市役所内の各部署をはじめ消防本部、図書館、保育所を含めた21部署で、5日から10日間にわたり、さまざまな業務を体験した。また、実施終了後は成果報告会が開かれ、自身の業務体験を踏まえて、市に対する政策を提言した。



(上段左) 図書館での本の貸出業務
(下段左) 消防本部で消防訓練



(上段右) 受付窓口で市民を案内
(下段右) インターンシップ成果報告会で政策提言を行う様子
※写真は総社市広報誌『広報そうじゃ』より引用



<取組の具体的な内容>

○各部署における具体的な業務体験

- ・消防本部: 消防訓練、救急訓練、救急法指導補助、消防庁舎危険物施設及び消防用設等自主点検業務補助
- ・保育所での保育補助、環境整備等
- ・市図書館: 書架整理、図書の貸出・返却業務、図書発注業務、自動車文庫巡回業務
- ・企画課: ポスターやチラシの配付、記者会見出席、広報取材、市ホームページ更新業務
- ・市民課: 高額医療費データ入力業務、年金データ照合業務、還付文書送付準備等
- ・福祉課: 市バリアフリーマップ作成、市内バリアフリー現地調査業務等
- ・地域応援課: 現場対応(大雨後の通行止め解除、路肩崩れ箇所安全対策、落石対応、水路清掃など)、放置自転車対応など
- ・議会事務局: 議長公務への随行、議会資料作成業務、本会議準備業務など

○成果報告会での政策提言

それぞれの体験をもとに、市の制度や政策の改善、新たな試みなどを今後市が実行すべき課題を提言として提出。その提言を市と大学側で審査し、新規性や独創性、実現可能性、将来性などの観点から優秀提言を選定する。選定された学生は表彰されるとともに、提言の実行についても前向きに検討される。

尾道市立大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名：インターンシップ(2単位)
- 実習先企業等：しまなみ信用金庫
- 実習場所：広島県尾道市
- 参加対象者：全学部2・3年生
- 実習期間：8月
- 実習日数：6日

<取組の概要>

この取組は、学生の自己目標の設定や目的意識の明確化を図り、実社会での研修によって社会認識・職業意識を育成し、実社会を早期の内に知り、雇用のミスマッチやキャリア意識の低下を防ぐ。



金融業の業務について説明を受けている様子

<取組の具体的な内容>

授業で事前・事後学習と報告会を行い、主に尾道市内の企業・団体を受け入れ先としてインターンシップを行う。2年生では、組織内における自らの役割を理解し、行動できるようになること。3年生では、自らが目指す分野での専門職としての職責を意識し、業務に活かすことができるようになること。これらを目標として、取り組んでいる。

しまなみ信用金庫でのインターンシップの内容は下記の通り。

- 「信金ビジネスマナーテキスト」に基づき、挨拶、身だしなみ、報連相の大切さを学ぶ。
- 信金の歴史、使命及び役割、信金と銀行の違いを学ぶ。
- ディスクロージャー誌の解説から、信金の仕事を学ぶ。
- 企業のCSR活動として“やっさ祭り”を体感する。
- 渉外担当者との同行訪問を行い、お客様へのアプローチ、会話の流れなどを体感する。

岡山理科大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名：インターンシップ(2単位)
- 実習先企業等：株式会社大本組
- 実習場所：岡山県岡山市北区理大町
- 参加対象者：建設学科3年次生
- 実習期間：平成26年9月1日～9月5日
- 実習日数：5日間

<取組の概要>

春学期に業界研究、実習企業の選定を行い、夏季休暇期間中に実施する。秋学期は実習内容等を全員でプレゼン発表する。



建築現場での作業前の打合せ



建築現場での墨引き作業

<取組の具体的な内容>

岡山理科大学附属高等学校の敷地内で建築中である「第9校舎」でインターンシップ研修を実施。

1日目に工事現場での安全管理教育、2日目および3日目に建設現場での施工計画・管理方法について学び、4日目および5日目に実際の現場で実務見学や現場職員のサポートを行った。

本インターンシップでは学生が現場監督の作業風景を見学する事も出来、コミュニケーション能力の必要性を認識するなど有意義な経験となった。

倉敷芸術科学大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名：観光特別実習(4単位)
- 実習先企業等：せとうち児島ホテル
- 実習場所：岡山県倉敷市
- 参加対象者：産業科学技術学部観光学科3年次生
- 実習期間：8月～9月 ● 実習日数：10日以上

<取組の概要>

観光学科のインターンシップとして、観光関連の企業や自治体等での職務体験に取り組む。一連の体験を通して観光を実践的に学び、就業力を高めキャリア形成の契機とすることを目的としている。

本科目は、4月から7月にかけて事前指導、9月末から10月に事後指導を実施。事前指導の内容は、インターンシップの心構え、自己分析・企業分析、受入先とのマッチング、直前指導等が中心となる。事後指導では、振り返り、総括レポート作成、報告会を実施している。

◆ 期間中の基本業務

時間帯	業務内容
午前 9:00～12:00	・フロント対応 ・お客様のお見送り ・売店の開店準備 ・商品の在庫確認
午後 13:00～17:00	・お客様の出迎え (ベル業務) ・客室までの案内 ・宿泊カード作成

◆ フロントでの対応の様子



<取組の具体的な内容>

- (1) 初日は、言葉遣いやマナーなどの接客の基本、お客様をご案内するホテル内の動線や諸施設についての研修を受ける。
- (2) 2日目以降は、フロント対応、ベル業務など、ホテルスタッフとしての基本的な業務を体験。
- (3) ブライダル部門での模擬結婚式を見学し研修を受ける。実際の結婚式では、セレモニーの補助業務を体験。

「お客様への笑顔、気持ちのよいコミュニケーション、依頼された仕事に対する責任」の重要性を身をもって体験することができた。

くらしき作陽大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名：インターンシップ(2単位)
- 実習先企業等：龍の仕事展実行委員会
- 実習場所：岡山県倉敷市
- 参加対象者：食文化学部
- 実習期間：7月～10月
- 実習日数：2週間以上

＜取組の概要＞

高梁川流域の企業文化を紹介するイベント(物産展)のスタッフとしてマナー研修、企業研修、イベントスタッフ、事後研修(報告会)などを通じて社会人と学生の考え方の違いを理解し、実社会に通用する人材育成を目的とする。



フリーアナウンサーによるマナー研修の様子



イベントスタッフとして接客体験(青色の服)

＜取組の具体的な内容＞

- (1) 龍の仕事展実行委員会によるマナー研修
 - ・フリーアナウンサーらによる社会人マナー研修を受講。
- (2) ブース担当する企業での事前研修
 - ・担当する企業で商品知識・業界の現状と課題を学び。イベントでの売り上げ向上の為に施策を検討する。
- (3) イベントスタッフとして活動(2週間以上)
 - ・実際の接客を通じて自分たちが考えた施策を検証。商品知識・コミュニケーション能力を実感する。
- (4) 事後研修(報告会)
 - ・龍の仕事展という活動を通じて自分たちがどのように成長したかを発表。受け手に伝わるプレゼンテーションの方法を学ぶ。

広島修道大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名：インターンシップ(2単位)
- 実習先企業等：株式会社JTB中国四国 広島支店
- 実習場所：広島県広島市、広島県江田島市
- 参加対象者：2・3・4年生
- 実習期間：8月
- 実習日数：5日

＜取組の概要＞

旅行業の現状およびJTBグループの取り組みを通して、旅行業界の現在と将来性について学ぶ。さらに、実際の業務体験で旅行業界で働く喜びと苦労の両方の側面を体感する。



海外旅行講義中の様子

日程	時間	実習内容
1日目	午前 午後	オリエンテーション 旅行業界についての講義 先輩社員との交流 店頭業務体験
2日目	午前 午後	支店長講義 法人事業・海外旅行講義 法人部署体験 グループワーク プレゼンテーション
3日目 4日目 5日目	終日	アメリカンサマーキャンプ 添乗員体験

＜取組の具体的な内容＞

実習前には学内にて、ガイダンス、実習先資料収集、プレゼンテーション指導、ビジネスマナー(4回)を実施。また、実習後には企業の方もお招きし、インターンシップ報告会を行った。

(1) 店頭業務体験

個人のお客様をお迎えする店舗では、お客様が入らないバックヤードで契約書面としてのパンフレットを店頭に並べる準備、端末を使った予約業務などを社員と同じフロアで体験した。

(2) 法人部署体験

企業や学校、地方自治体など法人のお客様を対象にした部署では、修学旅行や職場旅行以外の業務についても紹介し、時刻表を見ながら実際に旅行プランを組み立てた。

(3) 添乗員体験

最後の3日間は、江田島市で行われた子どもたちとのキャンプに同行し、添乗員体験をした。

福山大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名: キャリアデザインⅢ(1単位)
- 実習先企業等: 野村証券株式会社・福山支店
- 実習場所: 広島県福山市
- 参加対象者: 経済学部3年生
- 実習期間: 8月
- 実習日数: 5日

<取組の概要>

講義や懇談, グループ討議を通して, 野村証券の業務と金融の基礎を理解する。

地域や社会の経済を学ぶ中で, 社会人としての素養をつくる。



プレゼン資料の作成



プレゼン後の講評

<取組の具体的な内容>

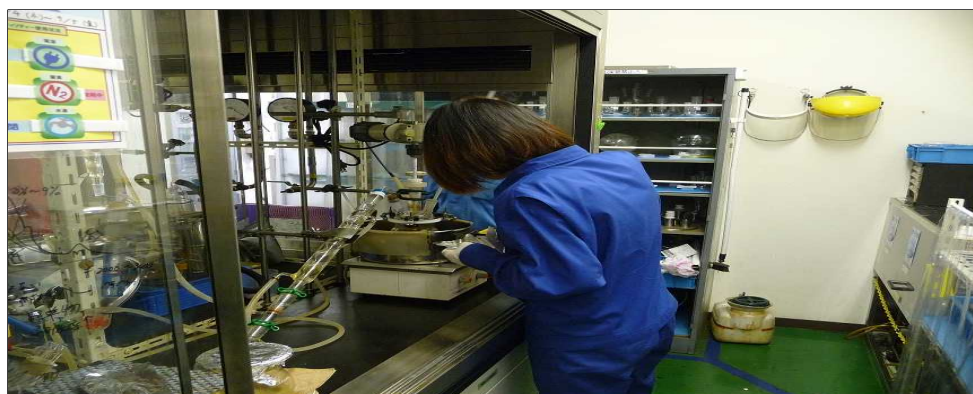
- ・毎朝1時間, 日経新聞を読み合わせ, 経済情報やホットニュースを入手して理解に努める。
- ・午前中は, 株式・債権・投資信託・為替等金融関係の基礎を学ぶ。
- ・週前半の午後は, 社員との懇談や各部署の業務の説明を通して企業の組織や企業人の心構えを学ぶ。
- ・週後半の午後は, 最終日のプレゼンに向けて, 準備を進める。
『儲かる株は何か』をテーマに, 新聞の読み合わせで得られた情報などから, 各グループが検討結果をまとめる。
- ・最終日の午後, 各グループがプレゼンを実施して, 幹部や社員の講評や批評を受ける。

山口東京理科大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名：インターンシップ(1単位)
- 実習先企業等：明和化成株式会社
- 実習場所：山口県宇部市
- 参加対象者：工学部 2年生
- 実習期間：8月～9月
- 実習日数：15日

<取組の概要>

クレゾール類のオルソ・パラ配向性と反応条件及び触媒種の影響調査 (PBL型インターンシップ)



インターンシップでの試料合成の様子

<取組の具体的な内容>

合成検討を行いデータをまとめる

合成① 標準試料の合成(ランダム型)

汎用品の合成条件である、シュウ酸触媒100℃以下での反応による標準試料(参照用サンプル)の作成

合成② 強酸触媒・低温反応での合成(ハイパラ型)

強酸触媒であるPTSを用い、低温での反応を行う

合成③ 弱酸触媒・高温反応での合成(ハイオルソ型)

弱酸触媒であるホウ酸を用い、高温での反応を行う

解析・評価 構造解析、レジスト評価

ランダム型、ハイパラ型、ハイオルソ型の構造差を確認し、それぞれのレジスト特性を比較する

まとめ データ解析、資料整理、報告会

四国大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名: キャリア開発(2単位)
- 実習先企業等: 徳島県教育印刷株式会社
- 実習場所: 徳島県徳島市
- 参加対象者: 全学部3年生
- 実習期間: 8月
- 実習日数: 5日

<取組の概要>

・学生は、全学共通科目「キャリア開発」受講後、インターンシップに参加。実習を通じて職業観、勤労観の深化を図るとともに自己の適性・能力について理解を深める。

実習終了後、日誌と報告書を提出。さらに、事業所の担当者や授業担当の学外講師等を招いた「インターンシップ報告会」に参加し、成果を共有する。



冊子製本作業の様子



名刺作成作業の様子

<取組の具体的な内容>

- [1日目] 自己紹介、会社概要の説明、社内見学。冊子製作のための原稿入力と校正。
- [2日目] 冊子製作のための原稿入力と校正。再校正。表紙の考案。
- [3日目] 専用ソフトを用いて、字体、レイアウト等を決定。表紙、奥付等作成。
- [4日目] ポスターの作成。冊子の製本作業。本の袋詰め作業。
- [5日目] 名刺作成。冊子の製本。実習のまとめ。